

博物館だより

国指定史跡・甲斐金山遺跡／湯之奥・中山金山 甲斐黄金村・湯之奥金山博物館報



2016夏イベント参加したい人、この指と一まれ!!

まだ間に合う！化学実験教室、砂金掘り大会、参加者募集中！

- | | | |
|------|--------------------|-------------------|
| 第8回 | 化学実験教室 | 7月17日(日) |
| 第16回 | 砂金掘り大会 | 7月30日(土) |
| 第13回 | 砂金甲子園！東西中高交流砂金掘り大会 | 7月31日(日) |
| 第16回 | こども金山探検隊 | 8月11日(木・祝)～12日(金) |

「横断道」京浜と2時間圏内に 教育体験旅行の聖地として夢膨らむ

甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 館長 谷口一夫

中部横断自動車道は、中央道双葉JCT～増穂JCT（開通済み）～六郷JCT（28年度中開通予定）～富沢IC（29年度中開通予定）～新東名新清水JCT間（29年度中開通予定）で現在工事は急ピッチに進められている。

これらの建設工事が具体的に決まった当初、県知事政策局では、平成20年度に中部横断自動車道開通に伴う、本県や沿線地域への影響を総合的に検証し、その対策を立てる目的で同横断沿線活性化「構想」策定協議会が立ち上げられ、平成20～21年度に、県内に及ぼすプラスマイナスの影響や活性化に向けての「構想策定事業」が始まった。

特に、開通した時に横断道の享受を受け活性化するのか、或いは道路が通過路線になり疲弊してしまうのか。全国の中では疲弊した事例が見られる報告もあったが、こうした事例を参考にあらゆる活性化策を含め、厳しい視点の中で取り組みが始まった。

筆者はこの構想から、後述する「推進」まで、これに参加する機会を与えていただいた。特に「金山博物館館長」という現職の立場から峡南ブロックの仕事に取り組んできた。

構想・推進は平成22年度からは県企画部企画課に移り推進協議会が立ち上げられ、峡南地域（南部ブロック）4PJ（ちなみに北部ブロックは2PJ）の具体的なプラン実行へ向けた、27年度までの6年間にわたる活動だったが、県が関与する形の峡南ブロックのPJ「富士川流域観光公社（仮称）設立による交流促進PJ」は幾多の試みを実践したがここで終えた。

そして現在、新たにこれまでのPJに関わって

きた地域関係者自らが「峡南地域体験型旅行等誘致推進協議会」を立ち上げ「旅行商品の造成」「ホームページの作成」に取り組み、来る新東名新清水JCT間29年度中開通予定迄には、一定の方向を目指すことになった。

さて、筆者が関る湯之奥金山博物館における体験プログラムは、日本を代表する灘・開成・慶應・麻布・大妻・桐朋・山梨学院中高・駿台甲府などの名門校が技を競う「砂金甲子園」を始め、全国から幼児から小中学生までが参加する「こども金山探検隊」による戦国時代・産金体験プログラムには高いレベルでの教育効果が内在しており、これらは幸い国の方針でもある、「2020年より文科省が目指す、座学中心の受け身教育から「アクティブラーニング」をベースとした、児童・生徒・学生の主体的学習姿勢を促す教育の先取りともなる。

今後は、これまで単発的に使ってきた峡南の持つダイナミックな自然・歴史・文化・文学・農水林産工業という遺産・財産を総合的に活用する方向を各町が目指し、結果として総合的な「体験型教育プログラム」の聖地としての取り組みが望まれるし、峡南活性化に直結していることを理解いただきたい。

こうした峡南の魅力に触れ、京浜に住みながら身延町内へ古民家を購入し週末を暮らす方との接点が芽生え、筆者らの活動にも大変有益な支援・アドバイスを頂いている。

その方の助言から私たちは横浜へ行き、峡南（身延町）の魅力に熱く語ってきましたが、それを受けていただく形で、先般は横浜市議会議員

の3先生が、身延町視察に出向いてくださいました。

身延町の体験学習施設である湯之奥金山博物館見学と砂金採り体験、なかとみ和紙の里と現代工芸美術館見学をはじめ、下部中学校、久那土中学校なども見学していただきました。

夜は、下部温泉郷の湯に浸かっていただき、身延町議会の4先生、町内有識者5名の皆様との交流会が開かれ、横浜市が取り組んでいる地方との連携や、連携のあり方などをはじめ、数々のヒントをいただきました。改めて「井の

中の蛙」ではダメだと強く認識いたしました。

2日目は身延町役場へ表敬訪問、副町長さんをはじめ4幹部職員さんとの懇談を済ませ、身延山久遠寺本堂にて僧侶の案内で見学、駅前で湯葉料理を食していただき、身延駅から帰途につかれました。

横断道が開通すると、京浜、とりわけ横浜～身延町は2時間圏内ですから、将来にわたって深い関係が結ばれるよう頻りに交流を深めていくことをお土産話にいただきました。

（平成28年6月8日）

『金山史研究 古文書研究編～門西家文書からみる湯之奥金山①～』発売開始

湯之奥金山博物館刊行の研究書籍『金山史研究』シリーズ。学術書としても高い評価をいただき、大変ご好評をいただいておりますが、このたび「古文書研究編～門西家文書からみる湯之奥金山①」と題し、新たに刊行いたしました。門西家文書166点の全写真図版の掲載、笹本正

治先生、堀内 亨先生にご執筆いただいた門西家文書に関する論文を再録し、新たに読解した41点の文書についての解説を施しております。

博物館売店にて一般販売も開始いたします。また、通信販売もご利用いただけます。

「…一見、私たちが使っている文字と同じだとは思えないような草書体をもって書かれた古文書は、見た目だけで敬遠されがちですが、史料の専門家でなくとも、それぞれの史料がもつ意味は何なのか、昔の人がどんなことを考えていたのか、どんな意図で書かれたのかなど、史料の中に過去の人々の思いやストーリー一性が見えてくると、難解な文字の中に入り込みやすくなり、さらに文字を追うことすら楽しくなってきます。また、複数の史料の成立年代は異なっているのに、それらの史料の内容を時系列で追えば、つながりを見ることがままあります。そこには、まるで悩んでいたパズルのピースがはまったような爽快感すらあります。今回、史料解題に取り上げたのは、古文書文中に中山・内山・茅小屋の三金山のいずれかの地名や、金山に関わる用語などが多少なりとも含まれているものです。読み解いた四一点中の約半数となりますが、金山の盛衰を改めて考える上でいい教材となると思います。（以下略）（解題序文より抜粋）

◎『金山史研究 古文書研究編 ～門西家文書からみる湯之奥金山①～』

【体裁：A4判194ページ・カラー図版付、価格（税込）2,300円（応援価格2,000円）】

通信販売をご希望される皆様へ：通信販売をご希望される方は、ご希望冊数（1冊…360円、3冊まで…510円）・住所・氏名・電話番号をご明記いただいたメモをご同封の上、書籍代金+送料を、現金封筒でお送りいただくことで購入可能です。代金到着を確認し次第、速やかに発送いたします。

また、既刊の『金山史研究』や、谷口一夫館長著『武田軍団を支えた甲州金』など、取扱関連書籍も同時購入も可能ですが、冊数により送料が異なりますので、ご注意ください。

なお、大変お手数ですが、いずれの場合も予め当館にお問い合わせのうえご送金くださるようお願い申し上げます。その他、ご不明な点は当館までお問い合わせください。

7月下旬より金山博物館ホームページが開設以来の大々的リニューアル!!

平素より、当館のホームページをご利用いただき誠にありがとうございます。この度、身延町のホームページ刷新に伴い大幅リニューアルいたします。黄色いトップページに甲州金が目印の当館ホームページ。今から16年前の平成12年の9月に開設しました。

現在なら、施設・会社・企業であって当然の「ホームページ」ですが、当時は、まだインターネット普及の過渡期で、それぞれ博物館や美術館がホームページを持っていること自体が珍しい時代でした。予算をかけず作成コストゼロ円で!ということで、小松美鈴学芸員が、HTML言語でコツコツ作成し、運営してきました。作成に際しては、大きな画像は読み込みに時間がかかるから出来るだけ小さめにし、また、写真の説明をしてくれる音声言語が出るように命令タグを付けたりと、サイトを訪れた誰もがストレスなく閲覧できるよう、当時、出来る限りの配慮を取り入れました。また博物館のホームページにわざわざ訪れる人はいないだろう、ならば、訪れてくれるように頻りに更新するページを作成しようということで、今でこそ広く普及しているいわば“ブログ”を「博物館日記」という形で、博物館の日々を綴ってきました。

以来開設から今日まで、長年皆様に親しんでいただきましたが、時代が移り、ネットを取り巻く環境も様変わりし、今やパソコンよりも携帯やスマホで閲覧することの方が多くなってきた昨今。諸々検討し、現状の機器に合った見やすいページ、多言語化対応、また運営側からしても、誰でも更新操作が出来るなど、これまでになかった利便性も加え、リニューアル致

します。ご利用の皆様にとって、情報を探しやすく、読みやすいサイトを目指し、構成やデザインを追求しております。今後もわかりやすい情報のご提供や、内容の充実に努めてまいりますので、ますますご利用ください。

なお、リニューアルにともない、URLが変更になりましたのでブラウザの「お気に入り」「ブックマーク」などに登録されている場合は、新しいページのURLへの登録変更をお願いします。

今後とも湯之奥金山博物館ホームページをご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



※旧サイトのページをお気に入りなどに登録されている場合は、再度登録をやり直していただきますようお願い致します。大変ご不便をおかけいたしますが、よろしくお願い致します。

新アドレスは次のとおりです。→ <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

もしくは

今年の夏休みから砂金採り体験室のパンニング皿が新しくなります!!

いつも大人気の砂金採り体験室のパンニング皿が、新しくなります。

どんなお皿になったかは、体験してみてものお楽しみ。違う楽しみを携えつつ、是非、砂金採り体験に遊びにきてください。

開館19周年記念リアル謎解きゲーム

5月9日(土)

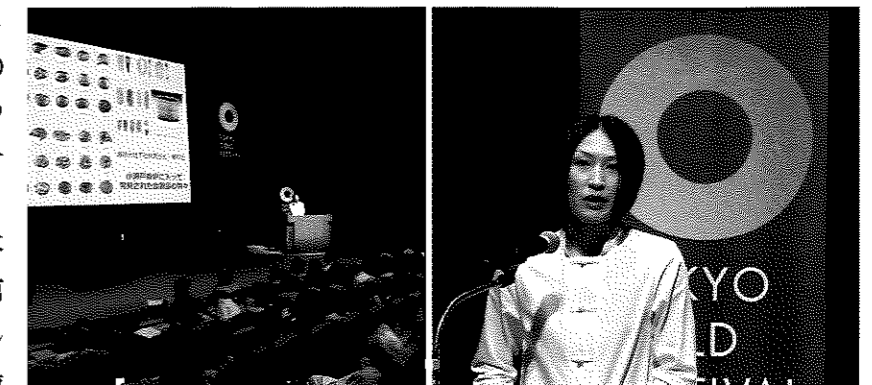
様々なヒントをもとに、クイズやなぞなぞなど、問題を解き「その場所から脱出する」という体感ゲーム「博物館オリジナルリアル謎解き」もご好評をいただいております。去る5月9日に、19周年の開館記念事業と位置付けて開催しました。シリーズ第3弾新作は「湯之奥研究所・巨大隕石を撃ち落とせ!~なんてこった!燃料がない!」。今回のストーリーは、「湯之奥研究所」の優秀な研究員である皆さんが数々の情報を集め、保管金庫と天才博士の

おぼろげな記憶の中に閉ざされてしまった「大事なミサイル燃料」を入手し、巨大隕石の衝突から地球を救ってほしいというもの。少し謎を減らし難易度を調整したところ、今回2組のクリアチームが出ました。謎を解いたチームはすっきり!謎を解かれた側はちょっと悔しい!そんな思いの錯綜するこのイベント。今回の結果を受け、多少謎を手直しして、再演いたしますので、今回ご参加されなかった方、是非挑戦してみてください。

ゴールドフェスタ2016 於 東京大手町よみうりホール

7月2日(土)

金の魅力を伝え、関心を深めるためのイベント『TOKYO GOLD FESTIVAL2016 ~ゴールドについて学び、ゴールドを体感する一日~』が、去る7月2日によみうり大手町ホール(読売新聞東京本社内)で開催されました。博物館からは小松学芸員とも一ん父さんが要請され、も一ん父さんは会場を賑やかに、小松学芸員は、「武田軍団を支えた甲州金~金塊の精錬まで&金の豆知識」と題してミニ講演を行いました。また、身延町観光課もタッグして“黄金の町・身延町”として参加。同じく金山を有する新潟県佐渡市は「黄金の島・佐渡」として同じく参加。金山遺跡を有する自治体同士、この機会を通じて交流を深めながらイベントを盛り上げました。



この日は、鹿児島県は「黄金の町・伊佐」から、公認キャラのイーサキングも来場。も一ん父さんと違って、毒舌トーク可能なイーサキングは、舞台ではコメンテーターとしても大活躍。会場を沸かせていました。ホールでの講演と同

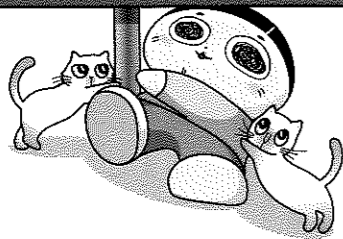
時進行で、展示ブースでは、初代タイガーマスクの純金マスク(純金5kg)や、金箔化粧品、金彩アーティストNatsukoさんによるアートライブ実演や、金工職人・川野悟さんによる純金磨きワークショップなど、多岐にわたったイベントが開催されていました。様々な講演があった中で「投資としての金を徹底的に学ぶ」がテーマの公開授業では、池水雄一さん(ICBCスタンダードバンク東京支店長)が先生役、元衆議院議員・杉村太蔵さんが生徒役で、わかりやすく軽妙なトークショーもあり、金がテーマなだけあってきらびやかな会場は来場者の熱気に包まれ、大変盛り上がりしていました。



商品サイズ 14mm×9mm×0.6mm (インゴット)、10cm×6.5cm (インゴットカード)

そして、ゴールドフェスタと奇跡のコラボ商品&限定デザイン“ゴールドフェスタ2016「も一ん父さん」”が限定30個で特別販売もされました。イベント終了後でもゴールドフェスタ専用サイトで購入可能ですので、是非この機会をお見逃しなく。

博物館事業のお知らせ



遠野市立博物館特別展 「金山繁昌 —黄金に魅せられた人々—」 のお知らせ

【会期】平成28年7月22日(金)～9月19日(月・祝)
お問い合わせ先：遠野市立博物館 TEL.0198-62-234

遠野市小友町から宮守町にかけての金山地帯は、平安時代末から採掘され、奥州藤原氏の平泉文化を支えたとの伝説、また鉱山を巡った争いもあったと伝えられている地です。そんな金山を巡る歴史をひも解き、日本初の産金地である宮城県涌谷町の奈良時代の産金資料、中世を代表する金山の一つである湯之奥金山資料、江戸時代の金山作業の様子を描いた「金沢御山大盛之図」などのほか、遠野の産金資料を展示し、遠野の金山文化を紹介した展覧会です。お近くにお出かけされる際は、お立ち寄りになってみてください。なお、会期中の8月27日(土) 13時30分～15時「中世の産金と甲州金」と題して小松学芸員が記念講演で登壇いたします。



湯之奥金山博物館杯・第16回砂金掘り大会(一般大会)

7月30日(土)開催!参加者募集中!

午前10時(受付9時30分開始)～15時30分迄 ※雨天決行
場所：博物館専用駐車場特設テント下

毎年恒例、博物館夏の祭典「砂金掘り大会」。ジュニア部門と男女一般部門の2部門に分かれています。全部門混合で定員200名まで!現在、参加者募集中!大人も子供もどなた様も、お気軽にどんどんどご参加ください。

競技部門：★ジュニアの部(小学生～中学3年生まで) 砂6kg
★男女一般の部予選(男女年齢制限なし) 砂10kgの予選
予選突破の上位20名に砂16kgのベテラン本選に出場権利が発生します。
ミニゲーム：マイバンニング部門もあるよ☆

変更点：部門が2部門になりました。男女一般部門では予選を競っていただきます。その中で上位20名が男女初心者部門決勝戦に出場権利があります。
各部門上位3位までに入賞された方には、メダルと賞状が贈られます。また2部門の1位同士で「頂上決戦(同条件一本勝負)」を行い、1位となった方が2016年砂金掘り大会総合優勝者です。
総合優勝者には記念トロフィー(返還式)&豪華副賞(砂金掘り大会WINNERの証・オリジナル純銀製金メッキ仕上げ記念メダル)を差し上げます。

湯之奥金山博物館杯 第16回 砂金掘り大会 2016 7/30 SAT

砂に混入した決められた数の砂金を、制限時間内に早く正確に、落とさずバンニングできるか!?運か実力か、競技部門は一般部門とジュニア部門。ここでしか体験できない日本最大級の砂金掘り大会。

- 時間：9:30～15:30(10:20～競技開始)
- 場所：湯之奥金山博物館イベント広場(博物館専用駐車場)
- 主催：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館(身延町教育委員会)
湯之奥金山博物館応援団、砂金掘り友の会
- お申込み参加費：大人(高校生以上)：500円 小・中学生：300円(2種目合わせて先着200人)
- 種目：ジュニア部門/小学生～中学生まで
男女一般部門/高校生以上の男女
- お申込み締切：7月28日(木)

日程	
9:30	▶ 10:00 受付
10:00	▶ 10:15 開会式、トロフィー返還式
10:20	▶ 競技説明・競技開始(ジュニア部門・男女一般部門予選)
12:30	▶ 男女一般部門決勝
13:00	▶ 頂上決戦
13:30	▶ ミニゲーム、マイバンニング部門、etc
15:00	▶ 表彰式

砂金甲子園!第13回東西中高交流砂金掘り大会(学校大会)

7月31日(日)今年の勝負の行方は!?

午前10時～14時迄 ※雨天決行
場所：博物館専用駐車場特設テント下

【参加校】灘(兵庫)、開成学園(東京)、大妻中学高等学校(東京)、麻布中学校・高等学校(東京)、桐朋学園(東京)、山梨学院大学附属中学校・高等学校(山梨)、駿台甲府中学校・高等学校(山梨)、峡南高校(身延町)

10:00～	出場選手入場
10:10～	開会式&トロフィー返還、競技説明
10:20～11:00	団体戦(40分間)
11:10～12:00	個人戦(8分×3試合 40分間)
12:10～	結果発表、表彰式(優勝・準優勝・第3位、新人賞、最優秀選手賞)
12:30～	昼食兼・交流懇親会、記念撮影、アンケート記入、学校大会 終了

砂金掘り大会一般大会の翌日は、東西の中高が砂金掘りのテクニックで競う、他では聞かない稀有な祭典。第13回東西中高交流砂金掘り大会を開催します。名付けて「砂金甲子園」!

2連覇の桐朋に立ち向かうのは、西の常連・灘か、東の常連・開成か、スポーツ優秀・山梨学院か、なでしこチーム大妻中学高等学校も気になる

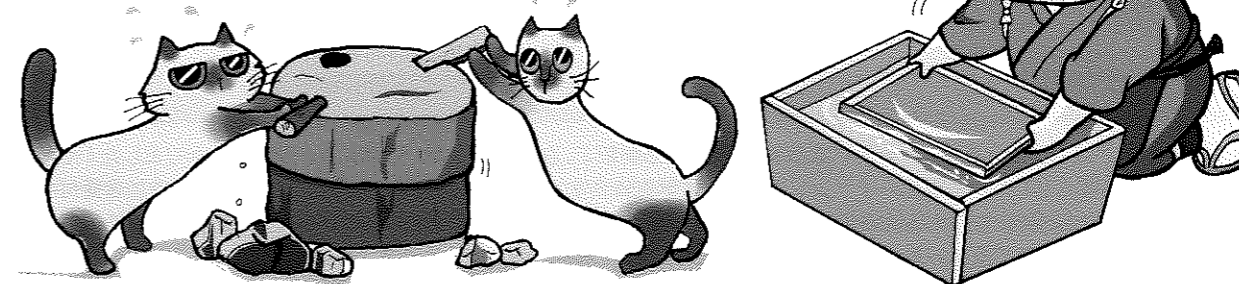
存在!昨年5年ぶりの出場復活を果たし今年はさらなる意気込みを見せる駿台甲府。2年目の参加となる麻布中高!そして地元で迎え打つ今年の峡南高校は!?今年も熱いスポーツ砂金採り!母校の看板を背負って戦う生徒たちに、皆様の熱い応援をよろしくお願いします!

第16回こども金山探検隊

■期日：平成28年8月11日(祝・木)～12日(金)

1日目：金山遺跡現地登山&鉱石粉成・汰りわけ体験&2日目：灰吹き・甲州金作り

1月放送の『THE!!鉄腕DASH!!』を見て、参加したい!という声もたくさんいただいている夏休み恒例の大人気プログラム「こども金山探検隊」は今年で16年目。今年も多くのご家族の方がご参加くださいます。



★★夏休みイベント当日ボランティア募集中★★

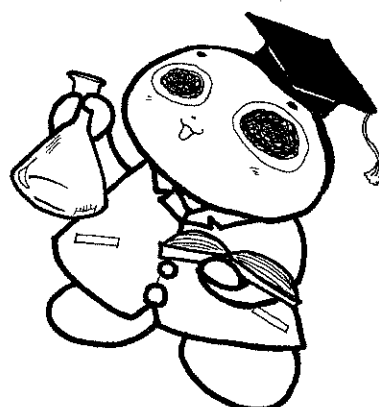
夏休み4大イベントへの参加・ボランティアなど、すべてのお申し込み・お問い合わせは
湯之奥金山博物館 TEL.0556-36-0015 FAX.0556-36-0003 まで

自由研究に最適！ 第8回化学実験教室 参加者募集中

より多くの地元の子供たちが、化学を学ぶ楽しさ、驚きや魅力を感じてもらえるよう始めた「化学実験教室」も8年目。

毎年人気の親子で楽しめる実験を1つ残して、新しい実験を2つ加えていただきました！

講師を務めてくださるのは、東西中高砂金掘り大会で、東京・開成学園を率いる宮本一弘先生。宮本先生はNHK高校講座をはじめ、各方面で大活躍されている先生です。化学を気楽に楽しめるせっかくの機会。少しでも興味があったらまずお申込み！



■期 日：平成28年7月17日(日)

■講 師：宮本一弘 先生(東京・開成学園教諭・理化学部顧問)

■共 催：夢・化学—21委員会 公益社団法人日本化学会

■参加費：1実験 各200円

■場 所：甲斐黄金村・湯之奥金山博物館 多目的ホール

■対 象：小・中学生 ※就学前のお子様でご参加希望される場合は保護者同伴でお願いいたします

■定 員：各回とも15人まで(要 事前申込、重複参加可能)

■実験内容及び実験開始時間

第1回実験「水の不思議！—手の中に雲を作る!?—」【時間】9:30～10:30

第2回実験「塩の不思議！—コップの中で雪を降らせる!?—」【時間】11:00～12:00

第3回実験「シャボン玉を浮かべる!?」&「冷却バックを作ろう！」【時間】13:30～14:30

※お申し込み時には、参加希望実験、参加されるお子様のお名前・学年、ご住所、電話番号、同伴される保護者の方のお名前をお伝えください。なお、例年の実験にアレンジを加えて開催しております。内容が多少変更になることもありますので、ご承知置きください。

8月中は夏休み月間につき 無休開館！プチイベントも開催♪

9月迄：午前9時～午後6時迄(受付は午後5時30分迄)

只今、博物館は夏時間で開館。また8月中は夏休み期間につき一か月間無休開館となります。8月中だけは、曜日を気にせずいつでも遊びにおいでください。また夏休み期間中(7月15日～8月31日迄)は、小学生以下のお子様には、チケット購入時、受付にて「天然石すくい」ゲーム、お盆中は、体験室プチイベント開催で天然石も倍増期間！さらに「砂金10粒採った小学生には小判プレゼント！」企画が、好評につきGW以来の再登場！夏休みの思い出作りに悩んだら「砂金採り体験」しかない！！是非博物館に遊びに来てください。

編集後記

夏イベントが近づいてきました。表紙にあるように、今年も斬新で、なおかつかわいいポスターが出来上がりました！そんなポスターがお知らせしている夏休みイベントですが、化学実験教室と砂金掘り大会は、開催日の数日前まで参加者受付中です。夏休みの自由研究にも使える博物館の夏イベント！どうぞ奮ってご参加ください。またお知らせしたようにプチイベントも開催しますよ。今年の夏休みもたくさんのお客様が、博物館で笑顔になってもらえるように！

博物館だより

第76号 平成28年7月10日

〒409-2947 山梨県南巨摩郡身延町上之平1787番地先

TEL 0556-36-0015 FAX 0556-36-0003

博物館HPアドレス <https://www.town.minobu.lg.jp/kinzan/>

博物館Eメール yunoking@town.minobu.lg.jp facebook もーん父さん